

シリーズ 高めよう防災意識 防災マップを活用しましょう

防災について第一に考えなければならぬのは、自分の住んでいる場所にはどのような危険があるのかを知ることです。

町では、これまで配付してきた「洪水ハザードマップ」などを一新し、各種災害の「ハザードマップ」や、防災に関する学習記事を含んだ「五城目町防災マップ」を作成し、町広報4月号とともに全世帯へ配付しています。見やすい所に保管の上、防災へお役立てください。

「五城目町防災マップ」の主な内容や、活用する際のポイントは次のとおりです。

①ハザードマップで危険な場所を確認

津波や浸水害(洪水)、土砂災害など、災害の種類ごとにハザードマップを掲載しています。それぞれの危険な場所をご確認ください。

②馬場目川の浸水想定区域を見直しました

これまで、50年に1度の降雨を想定したものでしたが、1000年に1度の降雨を想定した「新しい浸水想定区域」に変更しました。区域が大きく広がっていますので、

ご確認ください。

③各災害への対応

浸水害(洪水)や土砂災害、津波などの各災害への対応を掲載しています。また、この他の災害、火災や地震、雪害などへの対応も掲載しています。

④馬場目川の浸水深にに応じた避難対応

これまで、「避難勧告等」を発令した場合、浸水想定区域であれば浸水深に関わらず「立ち退き避難」としていました。

この度の「新しい浸水想定区域」では、町から「避難勧告等」を発令した場合、想定浸水深が2・0m以上で立ち退き避難(ただし、周辺が浸水していない場合)、2・0m未満で垂直避難(ただし、2階がある場合)と変更します。



お問い合わせ 町住民生活課 (0852・5112)

4月4日(日)から10日(土)は「その火事を防ぐあなたに金メダル」春の火災予防運動です

運動期間中、午後7時にサイレンを鳴らします。火災と間違えないよう、ご注意ください。



空気が乾燥し、火災が発生しやすい時季となりました。火災の発生や逃げ遅れを防ぐために、次の「いのちを守る7つのポイント」を心掛けた生活をしましょう。

いのちを守る7つのポイント

- ① 寝たばこは、絶対やめる。
- ② ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- ④ 4つの対策
 - ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
 - ・寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
 - ・火災を小さいうちに消すために、住宅用火災警報器を設置する。
 - ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



住宅用火災警報器の点検をしましょう

警報器の点検(作動確認)は、春秋の火災予防運動の時期に行うなど、定期的の実施してください。点検の方法は、点検ボタンを押すか点検ひもをひっぱることで行います。

故障が電池切れか分からないときは、取扱説明書を確認するか、メーカーにお問い合わせください。なお、電池切れと判明した警報器が設置から10年以上経過している場合は、本体内部の電子部品が劣化して火災を感知しなくなる可能性があります。交換を推奨しています。

住宅用火災警報器の維持管理

▶ 定期的な作動確認



点検ボタンを押すか点検ひもをひっぱり、定期的に作動確認をしましょう。

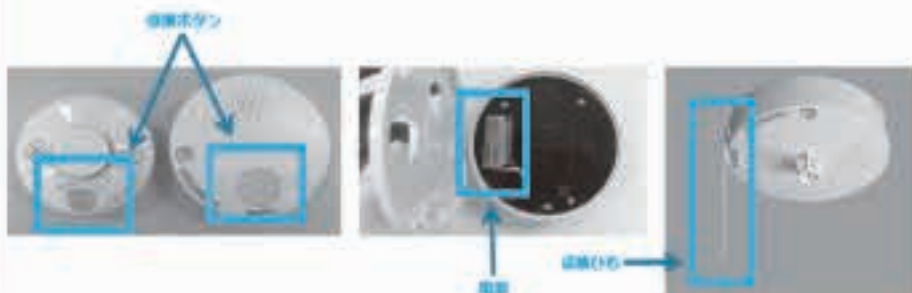
作動確認をしても警報器に反応がなければ、本体の故障か電池切れです。警報器の本体または電池を交換しましょう。

▶ 古くなったら交換



火災以外で警報音が鳴った場合。

本体の故障か電池切れです。警報器本体または電池を交換しましょう。



お問い合わせ 町消防署 (0852・20200)

湯ノ又町内自主防災会が 県優良自主防災組織表彰

3月15日、秋田市で「令和2年度秋田県優良自主防災組織表彰式」が行われ、湯ノ又町内会の自主防災組織が、県優良自主防災組織として表彰を受けられました。

本組織は、平成28年8月の設立以来、勉強会や先進地の視察、毎年7月の防災訓練などを行い、継続した訓練の実施や、多くの地域住民が参加できるような内容の工夫により、地域の防災力向上に貢献されています。



澤田石正廣会長(左)が、渡邊町長(中)と武田副町長(右)に受賞を報告しました。

交通死亡事故ゼロ 3,000日を達成

本町は、本年2月1日で「交通死亡事故ゼロ3,000日」を達成し、県知事から表彰状、県警察本部長から顕彰状が授与されました。

また、「令和2年秋田県飲酒運転追放等の競争」で全県5位となったことから、県知事から表彰状が授与されました。

渡邊町長は、「記録の達成と今回の表彰は、町民の皆様をはじめ、交通安全協会や交通指導隊、交通安全母の会など各種団体の地道な活動のたまもの。今後も、飲酒運転を一人も出さないよう、また、交通死亡事故ゼロが永遠に続くよう、皆様と協力しながらまい進する」と、交通安全意識のさらなる高揚に向け取り組むことを誓いました。

本町が交通死亡事故ゼロ3,000日を達成するのは初めてで、3月20日現在、継続中の記録では県内最長となっています。



町交通安全協会や町交通指導隊、町交通安全母の会の皆さんの出席のもと、2月25日に町役場で表彰伝達式を行いました。

「コミュニティ助成事業」で 活動用備品を整備

宝くじの社会貢献広報事業として行われているコミュニティ助成事業の助成金により、築地町町内会が活動用備品を整備しました。

▶ 築地町町内会 (一般コミュニティ助成事業) コミュニティ活動に使用するテント、太鼓などを整備しました。

